たのしみは②　　六年　　組（　　）

めあて：言葉を選んで、短歌を作ろう。

短歌のきまり
「五・七・五・七・七」の三十一音で表す。
のばす音、「ん」も一音と数える。
※しょうき　→三音
おとうさん→五音

○「たのしみは」を入れて」短歌を作りましょう。

例：たのしみは　みんなと給食　食べること
　　おいしいねって　言い合う時

□に言葉を入れて短歌を作りましょう。

たのしみは

○書いた短歌の表現を工夫して、短歌を完成させましょう。

表現の工夫
・音や様子を表す言葉を入れる。
・たとえ（比喩）を使う。
・順序を入れ替える。

たのしみは　もぐもぐ一緒に　食べること幸せな言葉　交わす時

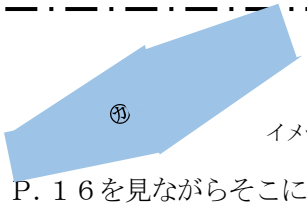
表現を工夫して短歌を作りましょう。

たのしみは

○対称な図形　第７時　教科書Ｐ．１６～１７

学習を始める前の準備と注意です。

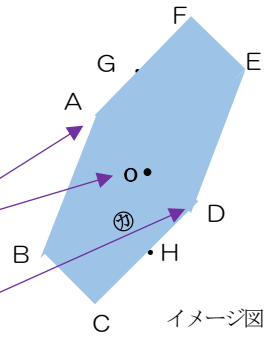
・前の時間に使った図形㋕を使います。
・コンパス、ものさし、三角定規を使います。
　準備しておきましょう。
・教科書Ｐ．１６～１７の学習です。１枚目のプリントは、Ｐ．１６を見ながらそこにかかれた図形を使って学習しますが、２枚目の「**まとめよう**」が終わるまでは、Ｐ．１７の上に紙などを置いて、Ｐ．１７を見ないようにして学習を進めましょう。



イメージ図

ここから学習スタート！　では、問題です。

3　点対称な図形の性質を、図形㋕を使って、さらに詳しく調べましょう。※調べるときは、Ｐ.１６の図を使いましょう。



イメージ図

調べてみよう！

（1）　対応する２つの頂点を結ぶ直線ＡＤと直線ＢＥは、どこで交わりますか。実際にＰ.１６の図に書き込みましょう。

☆ 図形㋕の中の(　　)で交わる。

（2）　対称の中心Ｏから対応する２つの頂点Ａ、頂点Ｄまでの長さをコンパスで調べ、下の文章に当てはまる言葉を書き込みましょう。

☆ ＯＡとＯＤの長さは、(　　)。

※(2)について、ほかの対応する点については、どうですか。
→頂点だけではなく、例えば、辺ＡＦ上の点Ｇと辺ＣＤ上の点Ｈについても同じように考える。

☆ほかの点について、(2)の結果と

（3）　対応する２つの頂点Ｃと頂点Ｆ、点Ｇと点Ｈについて、(1)と(2)と同じように、Ｐ.１６の図に書き込みながら調べましょう。

☆２つの頂点Ｃと頂点Ｆ、点Ｇと点Ｈについて、
(1)と(2)の結果と

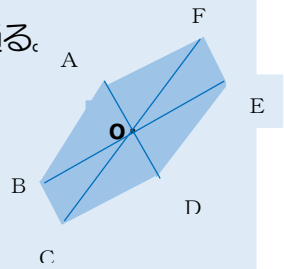
まとめよう。

点対称な図形では、

・対応する２つの点を結ぶ中心は、（　　）を通る。

また、

・対称の中心から対応する２つの点までの長さは、（　　）なっている。



AO=(　　)　BO=(　　)　CO=(　　)

※点Ｊを自分で決めて図の中に書き、点Ｊに対応する点Ｋを、Ｐ.１７のまとめの中の図に書きましょう。

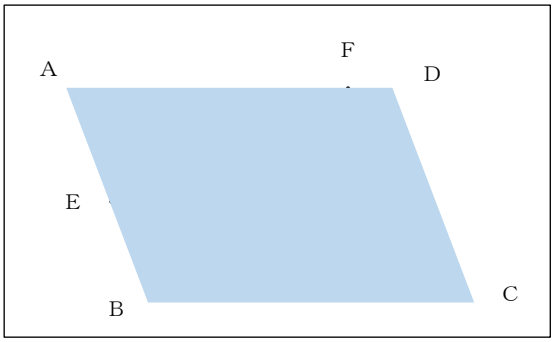
学習したことを生かして、問題を解いてみよう。

■練習

２　右の平行四辺形は、点対称な図形です。

① 対称の中心Ｏを見つけて、右の図形の中に書き込みましょう、

② 点Ｅ、点Ｆにそれぞれ対応する点Ｇと点Ｈを見つけましょう。



３　教科書Ｐ.８の写真にある下記の物を、線対称な形のものと点対称な形のものに分けしましょう。

橋、　飛行機、　風車、　雪の結晶、　寺院の地図記号、　ハンガー

線対称な形	点対称な形

４　教科書Ｐ.１７の下の青い図は、点対称な図形でしょうか。理由を挙げて応えましょう。

・点対称な図形で　　ある　・　はない

・理由

国づくりへの歩み②　氏名（　　）

教科書 p80～p83

【めあて】米づくりはどのようにして始まり、人々のくらしや村の様子をどのように変えていったでしょうか。

1　米づくりは日本でどのように始まったと思いますか、予想しましょう。

2　米づくりはどのようにして始まりましたか。一つ選んでから教科書で調べよう。

①日本でくらしていた人たちが考え出しました。

②中国や朝鮮（ちょうせん）半島から移り住んだ人たちによって伝えられました。

【答え】

3　米づくりが始まると、人々のくらし方や作業の仕方はどのように変わりましたか。

人々は　　住み、　　作業しました。

4　米づくりにはどのような道具が使われましたか。

木でできた道具

石でできた道具

5　米づくりの他に、大陸から伝わったものは何ですか。

6　弥生（やよい）時代の村の様子は、縄文（じょうもん）時代とどのようにかわったでしょうか。

○むらの人口

○集落の周り

○指導者

○身分の差

7　力をもった首長（しゅちょう）は、やがてどのようによばれるようになりましたか。

8　3世紀ごろ、倭（わ）（当時の日本）を治めていた邪馬台国（やまたいこく）の女王はだれでしょう。

①神武天皇（じんむてんのう）　②卑弥呼（ひみこ）　③小池都知事　【答え】

9　弥生時代の特徴（とくちょう）を短くまとめましょう。

○自分の学習をふり返り、星の数で評価しましょう。☆☆☆☆☆

６年生　理科　家庭学習プリント　　P48～50

３．体のつくりとはたらき④　名前（　　）

人は酸素をとり入れるだけでは生きていけない・・・。
おなかがすいたら、ごはんを食べるよね。
ごはんと言えば、白いご飯？パン？うどん？
パスタ？実はどれも**デンプン**の仲間なんだ。
「おもにエネルギーになる」食品だね。

ご飯・・・食べたらエネルギーになるというけど、
どこでどうやって体に吸収されているんだ・・・？
口で栄養を吸収している・・・？　いや・・・。
だとすると、口の役割とはいったい・・・？

問題　**ご飯は、口の中でどのように変化するのだろうか。**

仮説　口の中には歯や舌がある以外に、何かが出るんだよ。

確かめること

ご飯などをかむと、口の中で細かくなるだけでなく、
だ液と混ざっているよね。
だ液にはどんなはたらきがあるんだろう？
実験をして確かめよう！

実験方法 デンプンとだ液のはたらきの関係を調べる。
教科書P49の方法か、動画の方法で確かめよう。

NHK for School
だ液による
食べ物の変化

実験のコツ

口の中の環境を考えてみるよ。
歯があって、舌があって、だ液があって、
そして温かいのが口の中の環境だね。
細かく考えて、口の中の環境を再現しよう。

ヨウ素液はイソジン（うがい薬）やヨードチンキ（消毒液）で代用できます。

！重要！　デンプンはヨウ素液で青紫色になる！（5年の復習）

予想と結果 何の変化に注目すればいいかな？

条件	予想	結果
ご飯＋水＋だ液		
ご飯＋水		

考察 結果から考えられることは何でしょう。

ということは、

と考えられる。

結論 ご飯は、口の中でどのように変化するのだろうか。